建物に命を吹き込む技術で、人も街も輝く会社へ。



代表取締役社長
浜野 激
（はまのげき）

Profile
1979年、埼玉県生まれ。19歳で実父が創業した浜野電設に入社。以来この道一筋に現場で腕を磨き、営業部長、取締役専務を歴任。専務時代から数々の社内改革を主導して業績を伸ばし、2024年に代表取締役社長へ就任。本社移転や新規開拓を積極的に推し進める。趣味は子育てとキャンプ。

浜野電設 株式会社

ハマノデンセツ　[URL] https://www.hamano-densetsu.co.jp

あらゆる現場に応える確かな技術力

弊社は、ビルやマンション、学校、病院、工場、ホテルなど、あらゆる建物の電気設備工事を手がける企業です。実父で現会長の浜野信雄が1973年に創業しました。建物を人の体にたとえるなら、電気設備工事は、心臓から各臓器へ血液を送り届ける血管をつくる仕事。新築の真っ暗な建物に電源を入れ、ぱっと一斉に灯りがともる瞬間は、社員の誰もが胸を熱くします。建物に命を吹き込む、それが私たちの誇りです。弊社の強みは、スーパーゼネコンによる大規模な都市開発から個人住宅まで、規模を問わずあらゆる現場に対応できる技術力にあります。大きな現場では2年半に及ぶ長期プロジェクトを担うこともあり、培ってきた経験と対応力には自信があります。建設業界の技術者が年々減少するなか、その確かな実力は多方面から評価され、2030年以降まで受注が決まっています。新設工事だけでなく、保守メンテナンスや災害時の電気復旧まで一貫して担える総合力。本社のある台東区とは、災害時の復興事業に関する協定も結んでいます。地域とともに歩む姿勢こそが、揺るぎない信頼を支えているのです。

人を伸ばす組織づくり 社員の笑顔のために

私が何よりも大切にしているのは「人」です。社員の喜ぶ顔を見ることが、私の何よりの原動力。自ら動いて新規の顧客を開拓するのも、すべては社員を笑顔にするためです。だからこそ、給与・教育・職場環境の3つに力を注いできました。給与は、2024年度の1.5倍を2029年度に実現する計画を進めています。年齢に関係なく能力で評価するため、20代で年収700万円の社員もいます。教育面では資格取得を全面的に支援し、専門講師を招いた実技講座を開くほか、工具や材料もすべて会社が提供しています。社員には、いつも「家庭を大事にしてほしい」と伝えています。家庭をうまく治める力は、現場をまとめる力に直結するからです。育休・産休制度を整え、AIの活用で残業を減らし、ハラスメント対策も徹底してきました。こうした改革を進めてこられたのは、私を10代の頃から支え、社長就任を後押ししてくれた幹部たちのおかげです。長い付き合いのなかで私の未熟な時代も知る彼らへの感謝は、尽きることがありません。彼らがいなかったら、今の私は存在しないでしょう。

電気工事の地位を高める特別な存在に

電気工事は、長らく地位の低い仕事とされてきました。私は、この常識を変えたいのです。同じ仕事をするのなら、給与は高いほうがいい。待遇を上げ、その評判が業界に広がっていけば、若い人材がこの世界を志してくれるはずです。技術と誇りに見合う対価を当たり前にすること。働く人が胸を張れる業界をつくることが、私の使命だと考えています。いま手がけている読売ランドの水族館は、2027年の完成を予定しています。完成の暁には、全社員とその家族を招待するつもりです。自分が携わった建物を家族に見せられる喜びこそ、この仕事の醍醐味だからです。子を持つ社員が誇らしげに語る背中を、その子どもたちが見て育つ。やがて彼らがこの世界の担い手になる。そんな循環を生み出していきたいのです。目標は、グループ全体で100億円企業になること。そのために必要なのは、やはり「人」です。電気工事の世界で特別な存在となり、社員一人ひとりが自分らしく輝ける会社を、これからも全員でつくり上げていきます。



▲ 数々の変革により社員を何よりも大切にするカルチャーが定着。社員同士の距離も近く、自然と笑顔が広がる雰囲気。

3年連続掲載

本社所在地
東京建設

所在地
〒110-0005
東京都台東区上野6-16-17
朝日生命上野昭和通ビル8階

TEL
03-3837-7887

創業
1973（昭和48）年5月

従業員数
139名（グループ全体）

売上高
30億円［2026（令和8）年3月期］
グループ年商 43億円

事業内容
各種建物の新築時の受変電設備や構内配電設備工事、ガス会社電力事業に伴う電気及び空調工事、電気設備のリニューアル及びメンテナンスの施工管理、グループ会社では電気工事も行っています。

企業公式サイト